

# 3月定例会一般質問

## 伊吹山採石事業の中止を求める



### 米原市民報

日本共産党米原市議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党米原市議員  
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

3月2日一般質問4番目として藤田正雄議員が一般質問を行いました。テーマは「環境と景観を破壊する伊吹山の採石事業の中止を求めることについて」と「使いやすいうち高年齢者等住宅除雪費補助制度の改善について」です。市議員選挙中に市民からこれ以上伊吹山の採石を中止してほしいとの声、また今回の大雪で除雪に苦労された市民からの声に基づき質問をしました。質問概要と回答は次のとおりです。

### 伊吹山の採石事業

**Q**、伊吹山を守る自然再生協議会があるがどのような組織か。

**A**、地元や関係団体、企業、行政などが一体となつて、伊吹山全域の環境および景観を保全するための地域的な取組を実施する役割を担っている組織です。

**Q**、採掘計画に対する市の見解は述べているのか

**A**、伊吹山の採掘については、鉱業法に基づき国が許可していますが、県は昭和47年に県下で初めての自然環境保全協定を結び、事業を承継した現在の採掘業者と平成24年に自然環境保全協定に基づく覚書を締結しています。その中で、採掘計画に対する技術的な条件のほか、影響を最小限とする採掘方法などについて意見を述べています。この意見を受けて、事業者は緑化および景観等について、市や自然再生協議会の意見や助言を尊重すること等が覚書に盛り込まれたところです。

### Q、事業撤退の可能性は

**A**、採掘については、鉱業権の行使として行われているものであるとともに、石灰石の安定供給という重要な役割を果たしていると理解しています。採掘業者において、経済の状況や展望を勘案され採掘計画は策定されることとあり、撤退についても採掘業者が判断されることとあります。市の立場において申し上げますが、仮に採掘業者がそ

のような判断をされる場合には、早い段階で市への申し入れはあると思っております。

**Q**、計画に対しての市の意見は。

**A**、平成24年に現在の採掘業者と県が締結された自然環境保全協定に基づく覚書においては、地域の意向を反映させるため、必要に応じて米原市長に意見を聴くものとする規定が示されています。今後の採掘計画等が示された場合は、必要に応じ、市の意見を述べる機会はあるものと考えています。

### Q、市営の雪下ろし

**A**、伊吹山は、おっしゃるように日本百名山の一つでございますし、日本武尊の伝説が残る歴史的にも存在感のある山でございます。また、私自身も生まれ育ったふるさとの風景として、また暮らしの景観の中に、多くの人々が記憶にとどめられております、わが市のランドマークである大切な山だと思っております。地域産業を支える産業資源の安定

供給の必要性を踏まえつつも、伊吹山が米原市に留まらず、湖北・湖東の景観、そして県下最高峰の山、琵琶湖から見る美しい風景の中での存在を考えた時に、伊吹山の環境や景観を守るという地元自治体の意思を明らかにしていきたいと思っております。

### Q、補助金の申請状況は。

**A**、令和3年度においては2月末現在で25件となっております。

**Q**、相談等で対象にならないケースはあるのか。

**A**、屋根の雪下ろしを伴わない幹線道路までの除雪のみの相談があり、対象外とさせていただきます。

**Q**、研修会の計画について

**A**、市では、屋根の雪下ろしについては、大変危険な作業であると判断し、市民に向けた研修会等の実施は考えていません。

**Q**、自治会や地域グループ等の請負は可能か。

**A**、地域での支え合いによる除雪体制に期待しており、万が一のケガ等に対応するため、市でボランティア活動保険に加入しているところであり、引き続き支援してまいりたいと考えます。

また、シルバー人材センターについては、屋根の雪下ろし等、高所作業が禁止されたいするため、請負は依頼できないこととなっております。

**Q**、補助金の拡大は。

**A**、補助金の引き上げについては、補助金の適正化に向けた見直しの中で、検討してまいります。



伊吹山採掘現場の航空写真  
滋賀鉱産ホームページより